

高校入試英語教材について

【はじめに】

本教材は、高校受験を目指して英語を学習するすべての人たちに捧げるものです。

英文法を解説したものや受験用教材の類なら、数えきれないほど多くのものが市販されています。しかし、時間のない受験生の効率学習ということを考えると、いずれも「帯(おび)に短し、襷(たすき)に長し」といった具合で、理想的な教材がなかなか見つからないというのが現状です。そこで**高校入試に必要でかつ十分な英文法の知識を最短コースで習得でき、入試で高得点を取れる理想的な教材**として作成されたのが本教材です。それゆえ、この教材には高校入試に必要な英文法の知識はすべて網羅されており、逆に、不要な知識はすべてカットされています。

筆者が、本教材を執筆する上で最も苦心した点は、複雑な文法理論を読者の皆さんに一発で理解してもらうためにはどのように書いたらよいか、ということです。そのために、いわゆる学問としての英文法の解説とはかなり異なる説明法を用いている個所が多々見られますが、本教材の目的は、読者の皆さんに、高校入試に必要でかつ十分な英文法の知識を最短コースで習得してもらい、入試で高得点を取っていただくということであり、この目的を達成するのに、本教材よりすぐれたものは他には存在しないと自負しています。

以上に述べたことは、筆者が本教材を作成した一応の趣旨ですが、この教材が完成するに至った背景にはもっと深い動機があります。

雨の日も風の日も休まずに塾へ通い、瞳を輝かせて筆者の講義を聴き、時に目の覚めるような鋭い質問を浴びせ、筆者に、「詳しい英文法の教材を作ってほしい」と要望する教え子たちがいなかったら、本教材はついに世に出なかったでしょう。教壇から見える彼らの姿は、他ならぬ筆者自身のつらかった受験生時代そのものであり、時としてその姿に耐えがたいほどの愛しさを覚えることもあります。そのような筆者の“思い”が、本教材の全ページに文字というかたちで綴られていることをここに記しておきます。

本教材が、読者のみなさんの学習の一助となることを切に願っています。

小坂武詩

【筆者のプロフィール】

現役の大手予備校講師で、30年以上英語の講義を担当し、これまで多くの受験生を第一志望校に合格させてきました。趣味はお酒とカラオケとサバイバルゲームで、一番好きな言葉は「友だち」です。

【本教材の特徴と使い方】

ホームページに詳しい説明がありますので、ご使用前に必ず目を通してください。

【 目次 】

この目次は、学習の際に適宜参照してください(とくに有料実践編はページ数が非常に多いので、自分が現在どこを学習しているのか、他講で参照したいところがどこにあるのかなどを把握するのに役立ててください)。

1 無料基本編

- 第 1 講 be 動詞と一般動詞 … P2~17
- 第 2 講 can を使った文 … P18~19
- 第 3 講 進行形 … P20~24
- 第 4 講 未来形 … P25~27
- 第 5 講 疑問詞の文・選択疑問文 … P28~37
- 第 6 講 命令文 … P38~40
- 第 7 講 there を使った文 … P41~47

2 有料実践編

- 第 8 講 名詞・冠詞 … P2~48
- 第 9 講 形容詞と副詞 …P49~84
- 第 10 講 代名詞 … P85~101
- 第 11 講 比較 … P102~129
- 第 12 講 感嘆文 … P130~132
- 第 13 講 助動詞 … P133~148
- 第 14 講 文型 … P149~174
- 第 15 講 基本 3 時制と進行形 … P175~182
- 第 16 講 完了形 … P183~203
- 第 17 講 受動態 … P204~226
- 第 18 講 接続詞 … P227~245
- 第 19 講 不定詞 … P246~278
- 第 20 講 動名詞 … P279~292
- 第 21 講 分詞 … P293~306
- 第 22 講 関係詞 … P307~366
- 第 23 講 いろいろな疑問文 … P367~395
- 第 24 講 時制の一致と語法 … P396~413
- 第 25 講 仮定法 … P414~425
- 第 26 講 前置詞 … P426~453
- 第 27 講 無生物主語の文 … P454~456
- 第 28 講 会話表現 … P457~482

【 著作権について 】

本教材は著作権法により保護されています。無断の複製・複写・転載・転売・転用などを一切禁じます。

Copyright 2024

<https://www.kokonyushieigokyozei.com/>